

Vol.69

院長 関の

Face to Face

2014年 3月 1日発行



甲状腺に異常の見られる人が増えているそうです。原発事故のせいだ、それは関係ない……いろいろと意見が交錯しているようですが、何が理由であれ、異常に増えているのは事実です。大したことはないのかあるのかそもそも甲状腺は何をする臓器なのか。簡単におさらいしてみたいと思います。甲状腺は何処にあるかご存知ですか？喉仏の下にあります。

甲状腺は何をする？ (1)



正常であれば横 4 cm × 縦 4 cm × 厚さ数 mm、ちようちよが羽根を広げたような形で気管に抱きつくように貼り付いています。では、この甲状腺は何をしてくれるのでしょうか。平たく言えば「元気の源を作る」のです。全身の細胞の代謝を促すホルモンを作つて、分泌して、貯蔵する。人体の中で最も大きな内分泌器官」です。

甲状腺で作られるホルモンは 3 つ。T₃ と T₄、カルシトニンです。T₃ と T₄ の主な働きを簡単に言うと様々な物質の代謝を調節し、体と脳の発育を促進、精神や心臓の機能にも大きく関わる。カルシトニンの働きを簡単に言うと骨を丈夫に壊れにくくする……。大事な仕事をしていることがお分かりいただけると思います。さて、そのホルモンの原料が「ヨウ素」です。ヨウ素は体内で合成できないので全て食べ物から摂取します。食べ物なら問題ないので、放射線ヨウ素であっても甲状腺は誤って溜め込んでしまうわけです。次号に続きます

関 修一(せきしゅういち)

健育会 東銀座整骨院・鍼灸院・

整体院 院長

代替医療の総合治療院としての確立を目指す。タイトルの face to face は、患者さん自身と向き合つて患者さんの症状と闘うことを願つてつた * 毎月1日の発行です